



## 地域福祉の 向上を目指して

### 地域交流ホーム落成披露

在宅心身障害児の通園施設「土佐希望の家地域交流ホーム」の落成披露が五月八日、同ホームのプレ開幕式で、来賓や父兄など、関係者約七十人が出席して開かれました。

この地域交流ホームは、在宅心身障害児と地域福祉の向上を目指す県下初の通園施設です。【やまびこ教室】（斎藤秀雄室長）と名付けられ、四月二十日に開園。昼間だけ施設で訓練、保育し、家族の負担を軽くするとともに、子供たちの運動能力も伸ばそうというものです。

## BBS キャラバン隊 メッセージを伝達

佐希望の家地域交流ホーム落成式典が開催され、浜田助役がメッセージを手渡されました。



泥だらけになって田植えする子供たち

「やまびこ教室」では、指導員と保母各二人、希望の家の医師、七月からは理学療法士も加わって、希望の家の在宅班が訪問していたなかから通園可能な子供を週二日療育。空いた時間は他の重度障害児にも開放しています。

記念式典では、希望の家の山崎理事長のあいさつの後、工事報告

ホームは、六十一年十月二十五日に着工、今年三月十四日に竣工しました。建設費四千七百万円、鉄筋コンクリート造り二階建て、延床面積二百七十二・六七平方メートル、ボランティアの育成や地域福祉に関する調査研究事業なども行うところとしています。利用を希望する方は電話または直接ホームへ。

ホームでは、心身障害児者の相談や心身障害児の通園事業のほか、ボランティアの育成や地域福祉に関する調査研究事業なども行うところとしています。利用を希望する方は電話または直接ホームへ。

浜田助役にメッセージを伝達

日本BBS連盟が派遣した全国縦断キャラバン隊が、四月二十六日、南国市を訪れ、法務大臣とBBS連盟会長のメッセージを伝達しました。

BBSとはBIG BROTHERS AND SISTERS MOVEMENTの略称で、非行

に陥った青少年のよき兄姉となつて立ち直りを助けようと、現在市内で十二人の会員が活動しています。

伝達式には、浜田助役をはじめ、更生保護婦人会や保護司会BBS会員ら約三十人が出席。BBS南国支部の藤村治会長のあいさつ

の後、メッセージが伝達されました。それを受けた浜田助役が「明るい犯罪のない住みよい南国市を作ります」とあいさつ。

この後キャラバン隊は市内を回り、夕方、次の目的地である室戸市に向かいました。

が行われ、中村副知事や小笠原市長らが「開かれた施設を作つて多くの子供たちが希望を持てるよ

うに」と祝辞を述べました。

助役は、「喜びと感動を味わおう」と四月二十五日、国府小学校（下

村章光校長、児童数百三十二人）の全校児童が、同校のPTA会長、岸原一男さんの管理している「ま

るほねば農園」（七百平方メートル）で田植えをしました。

これは、ゆとりの時間を使って勤労生産学習することにより、自然を相手に喜びと感動を味わい、作物を作るとはどういうことかを

学んでもらおうと市米消費拡大推進連絡協議会が実施したもので

体操服姿の子供たちは三組に分かれ、ヒデコモチの苗を大騒ぎしながら植えました。この日に植えた苗は子供たちが管理、八月中旬に取り入れをして、体育館の落成に使う予定です。

そのほか、同農園の畑では、じ

やがいもやトウモロコシも育てる

## まるほねば農園で田植え

### ○国府小学校○